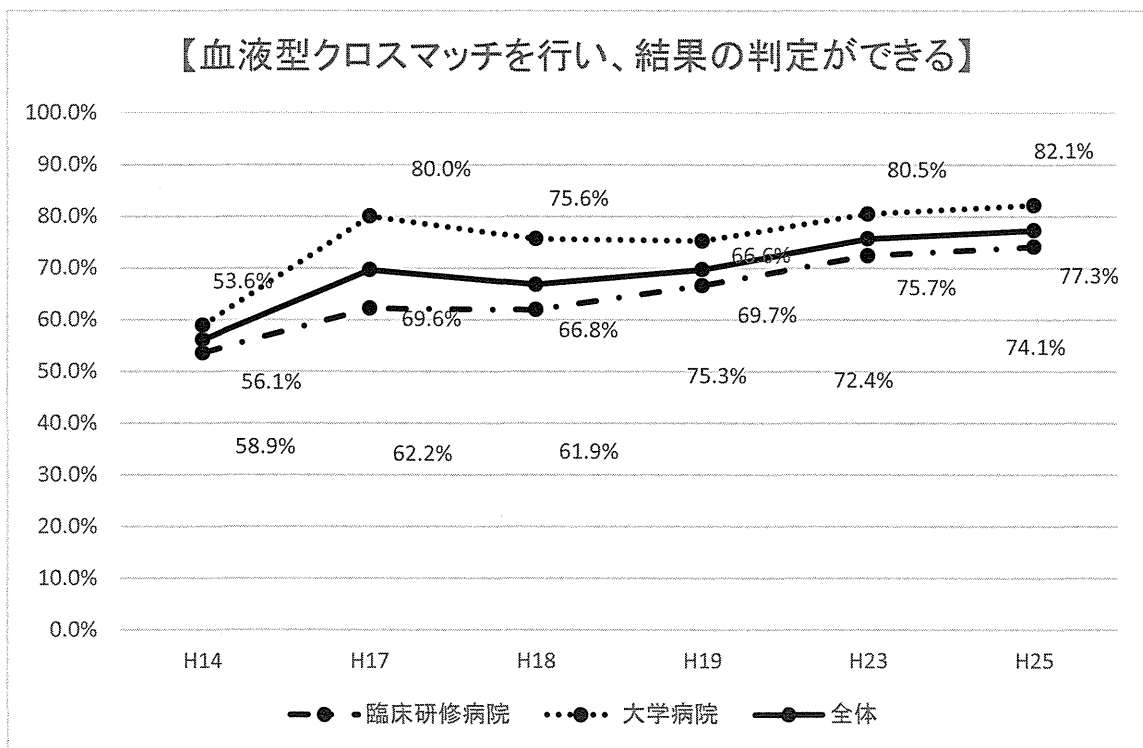
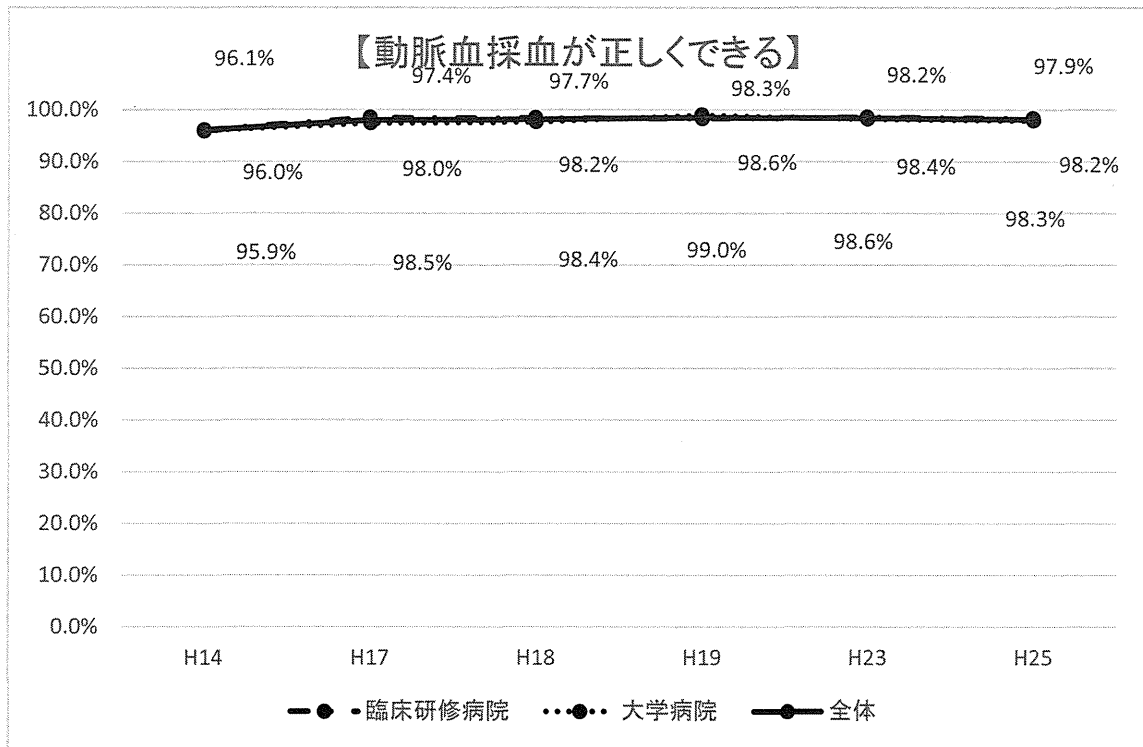
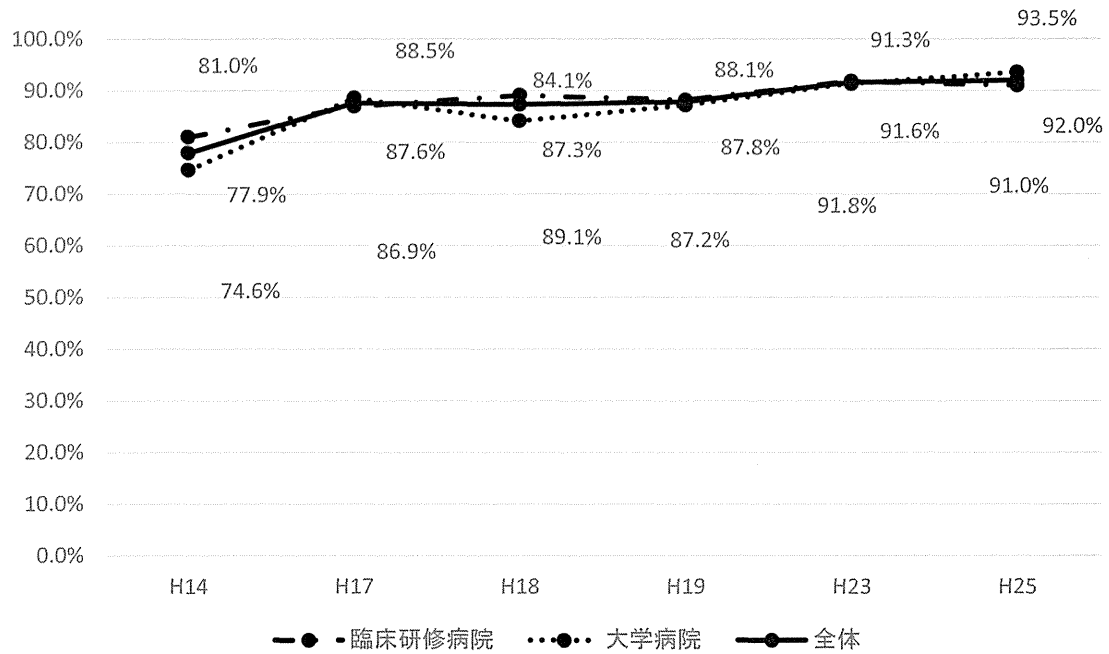
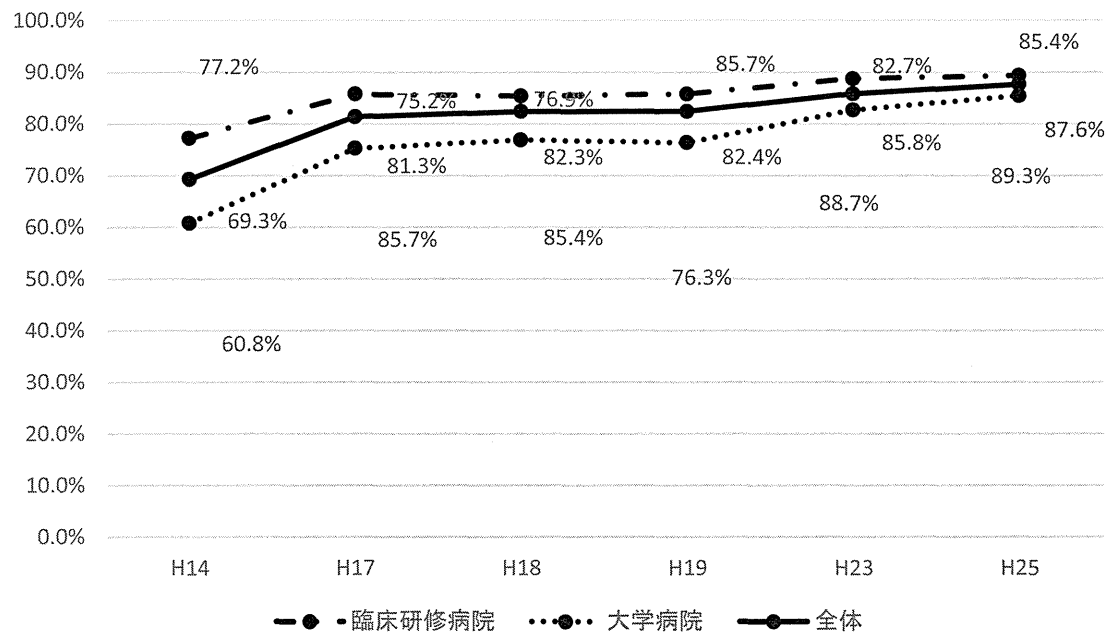


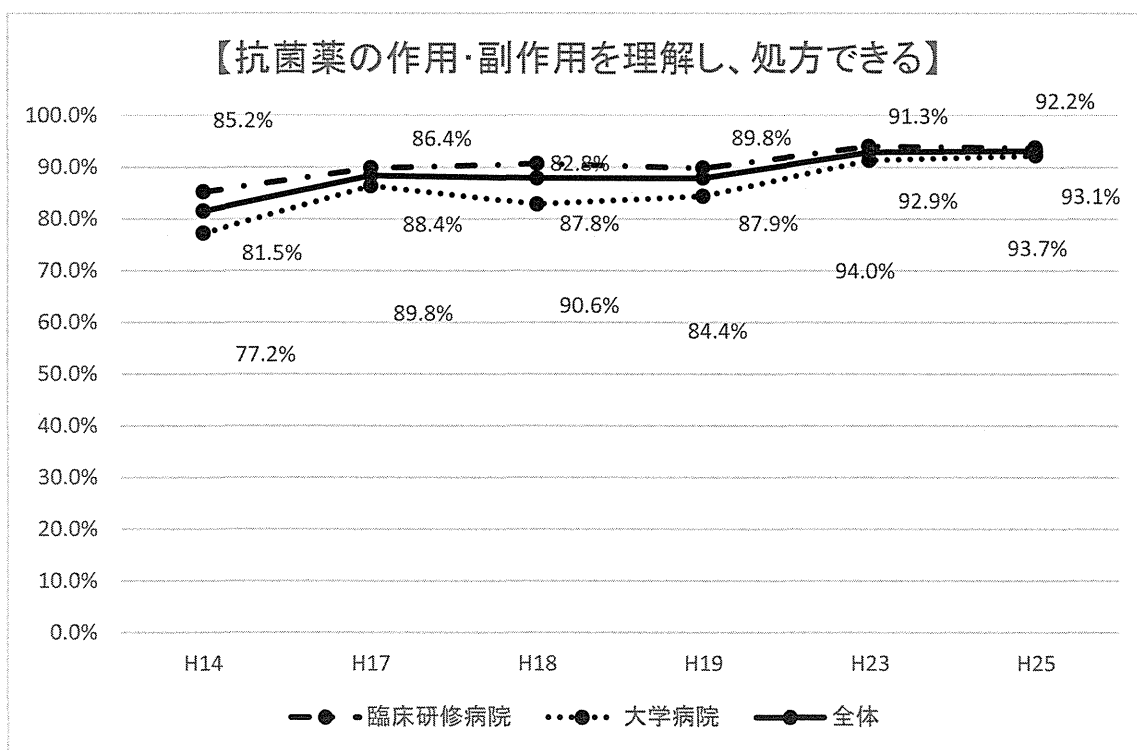
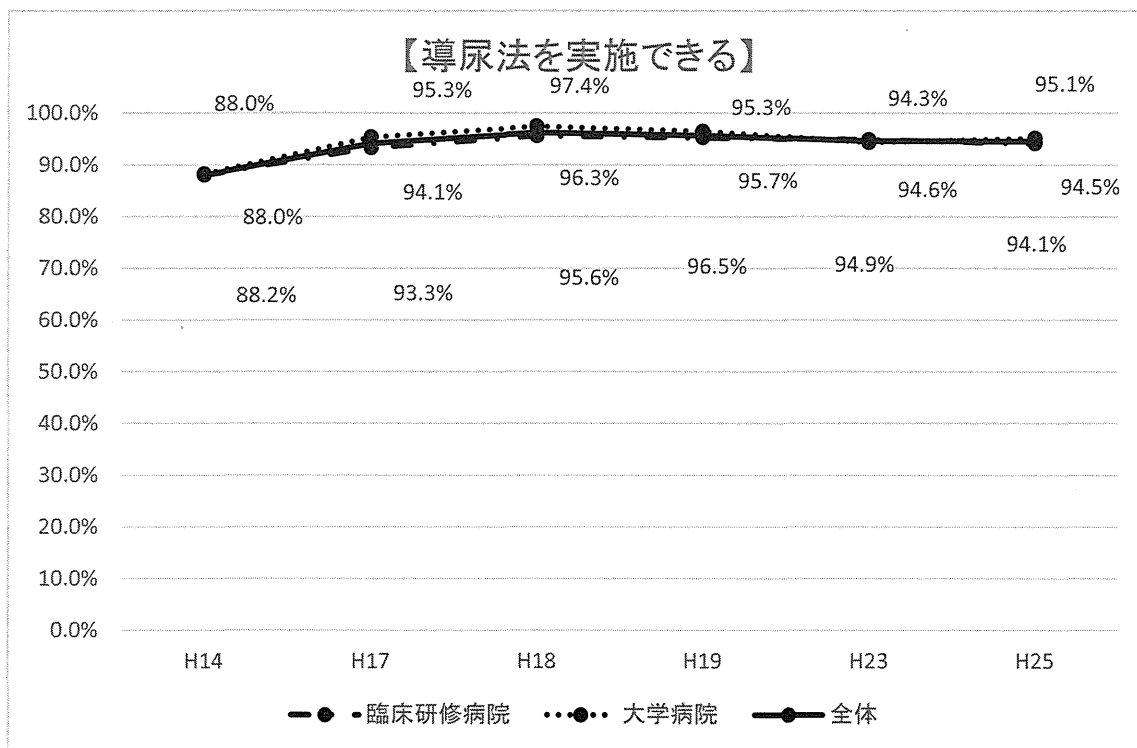


【輸液の種類と適応を挙げ、輸液の量を決定できる】

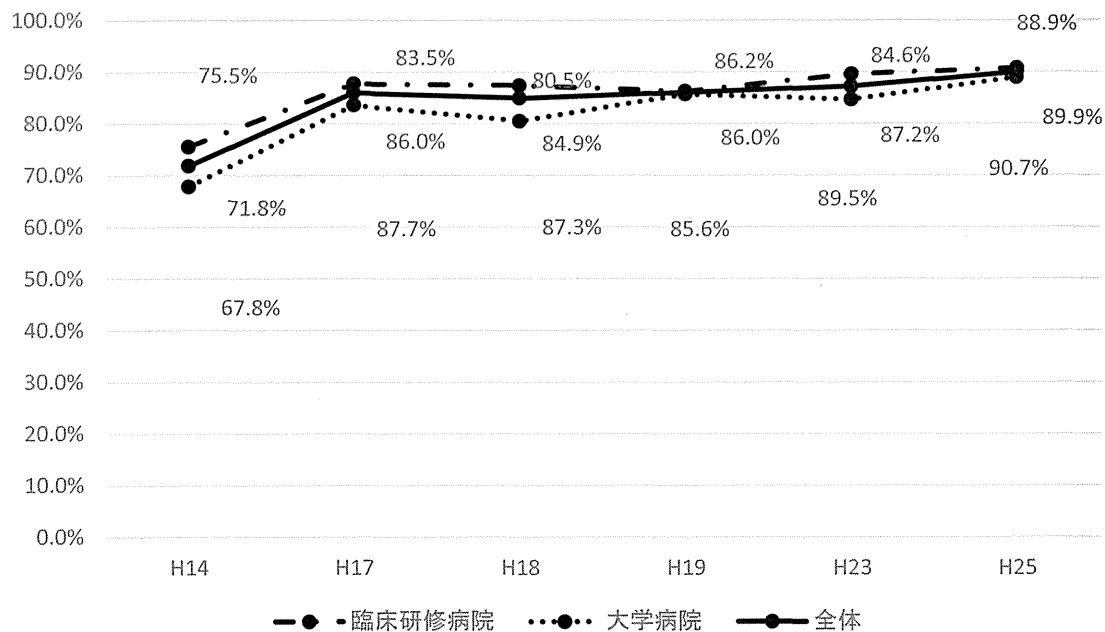


【腰椎穿刺を実施できる】

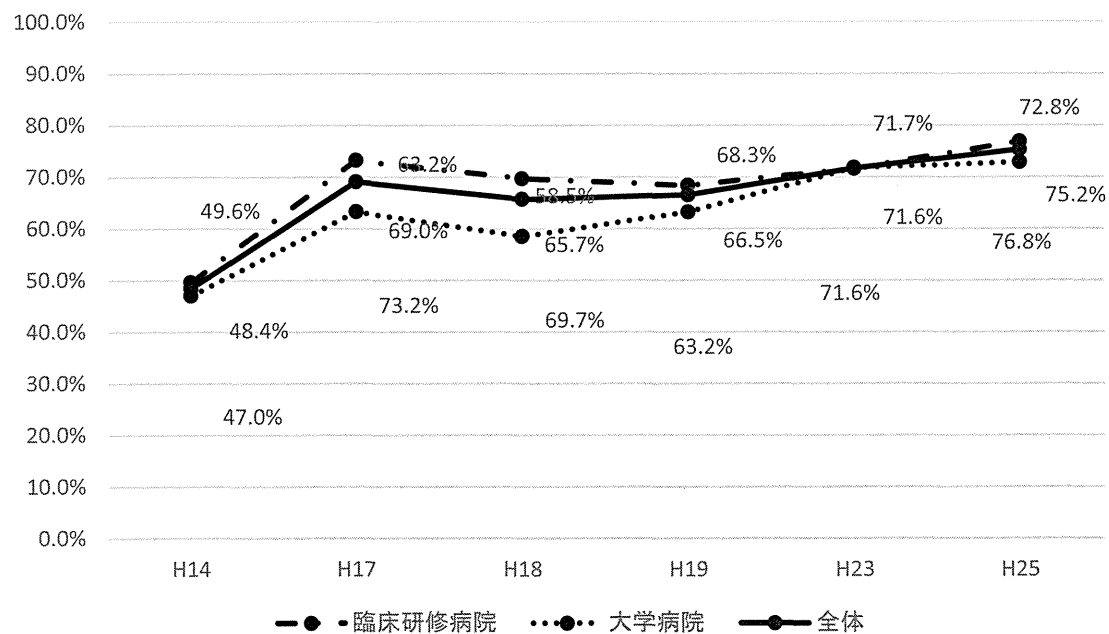


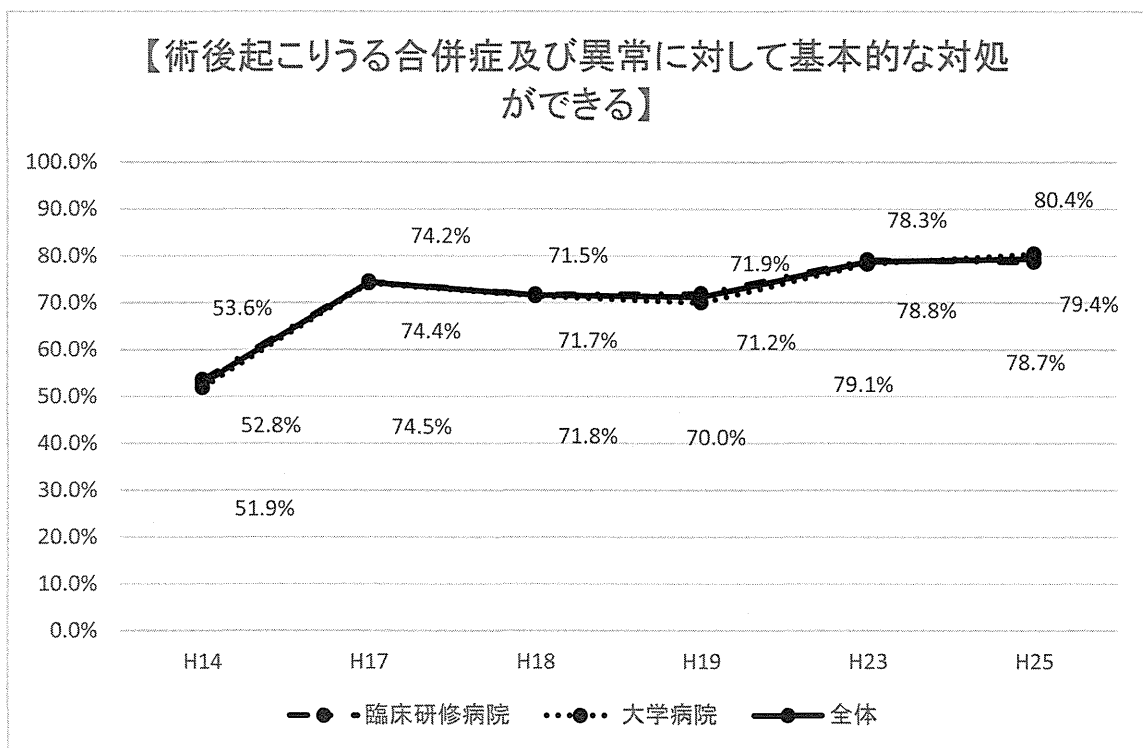
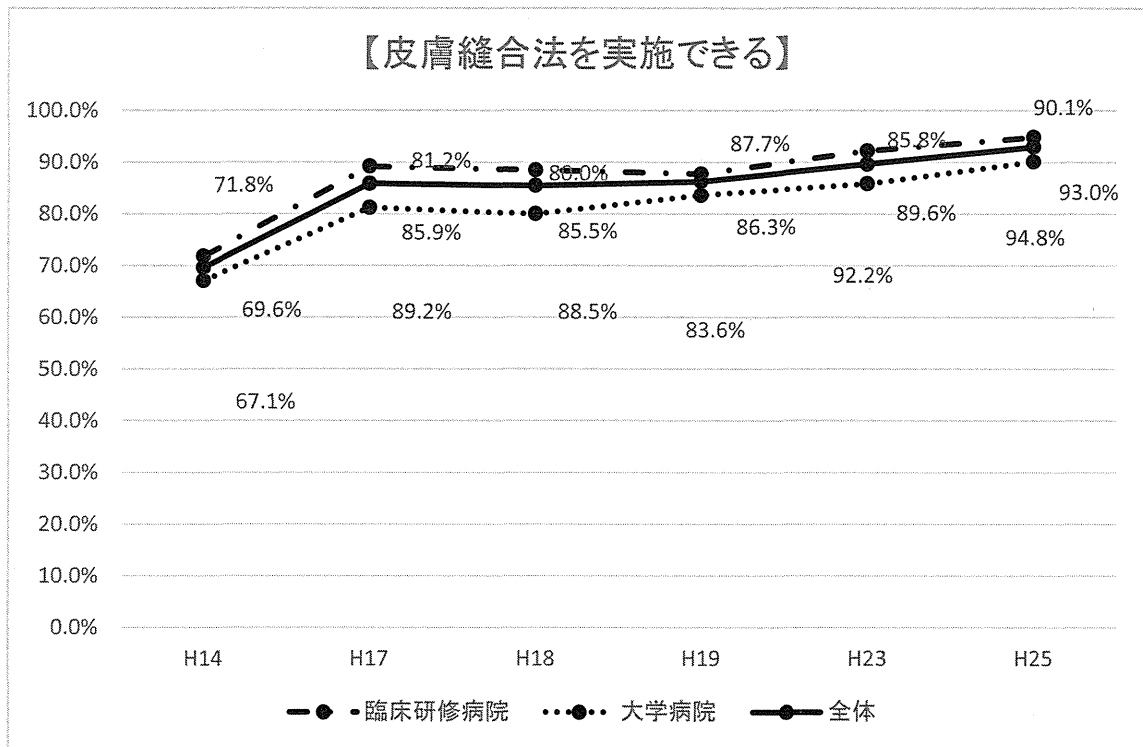


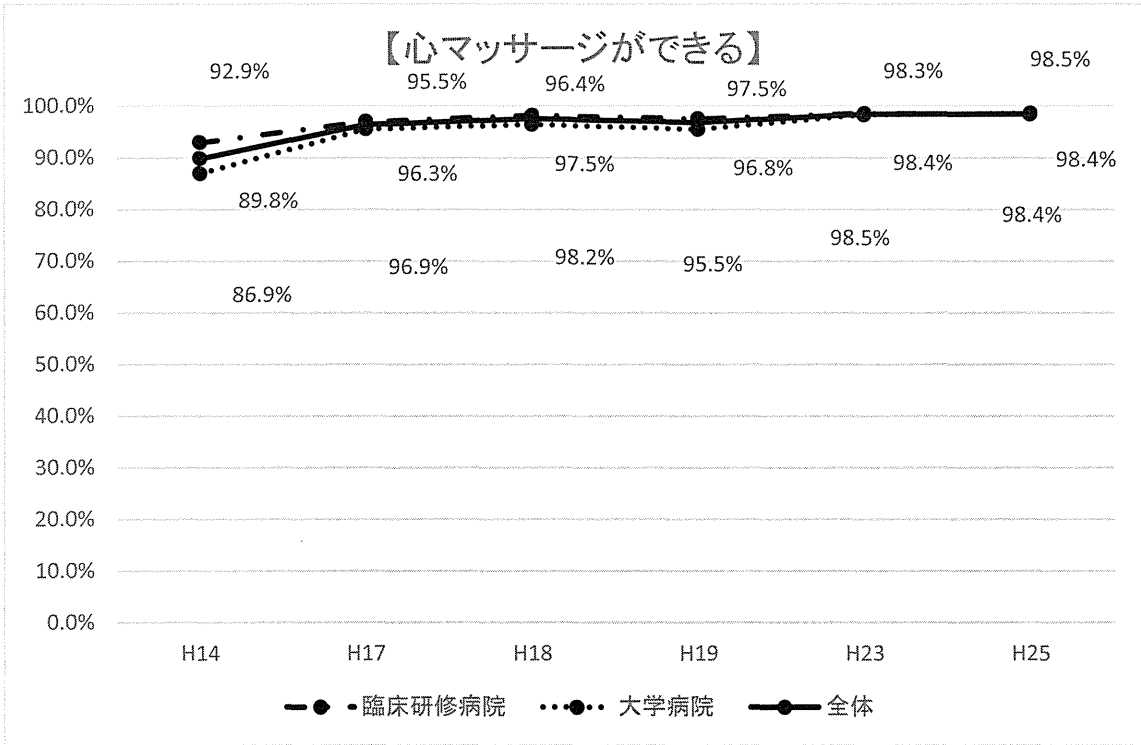
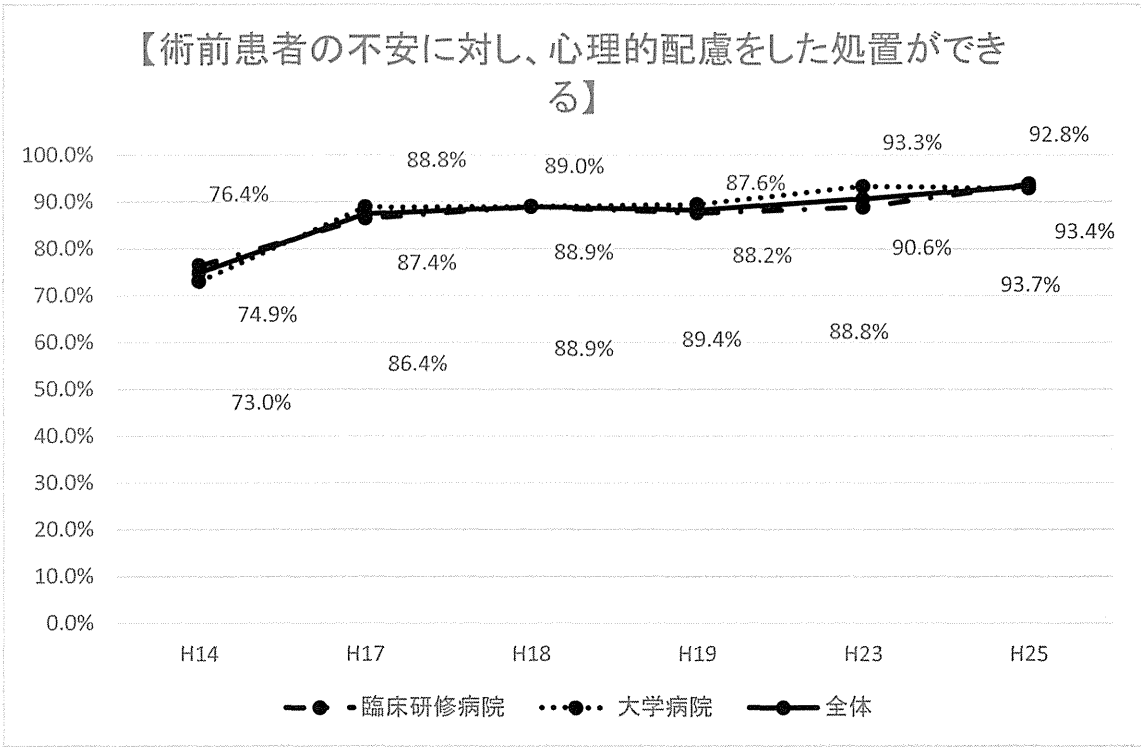
【局所浸潤麻酔とその副作用に対する処置が行える】

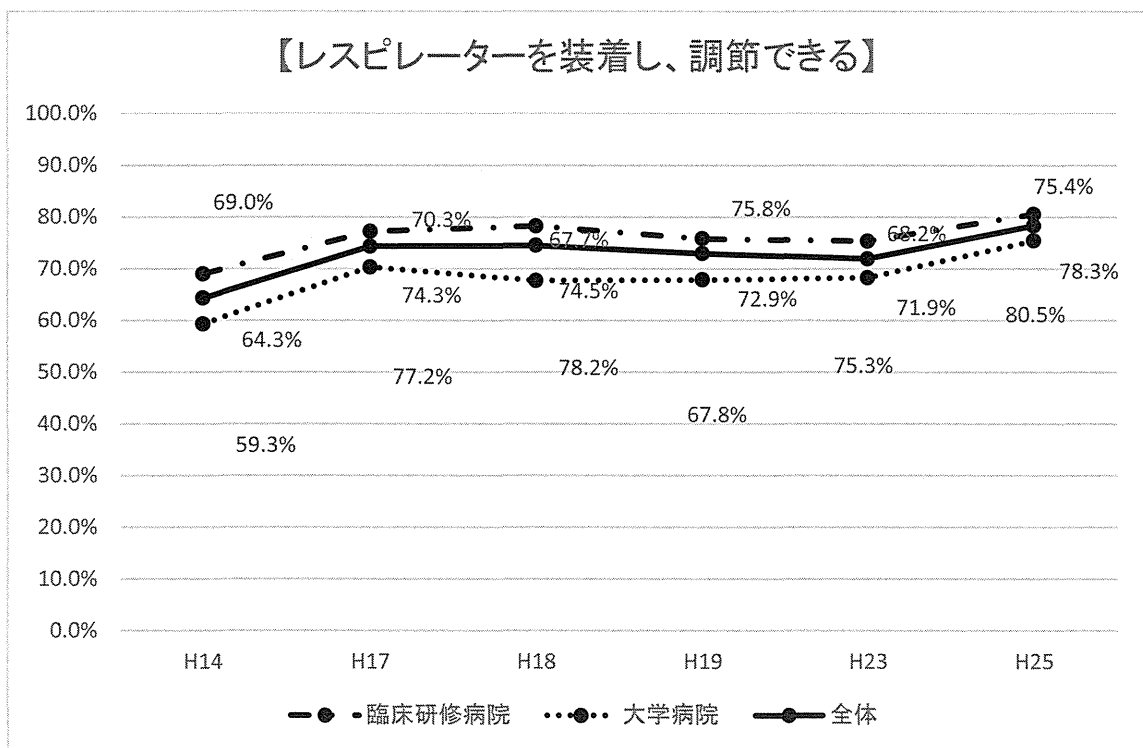
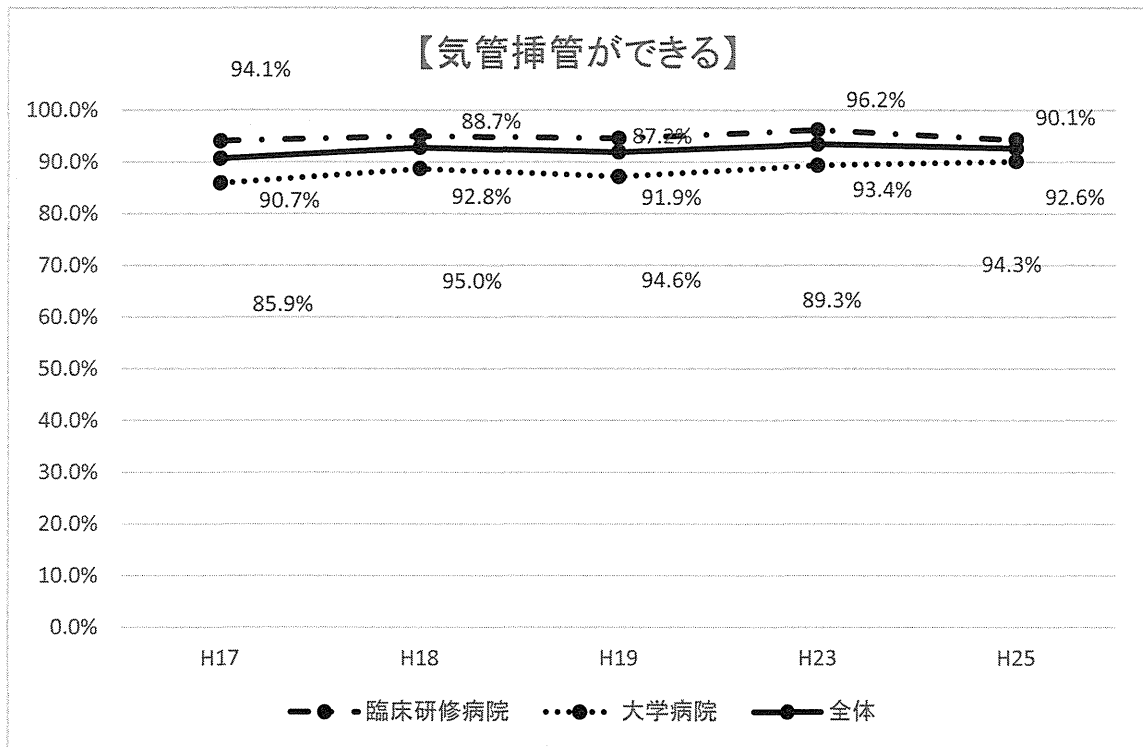


【傷病の基本的処置として、デブリードマンができる】

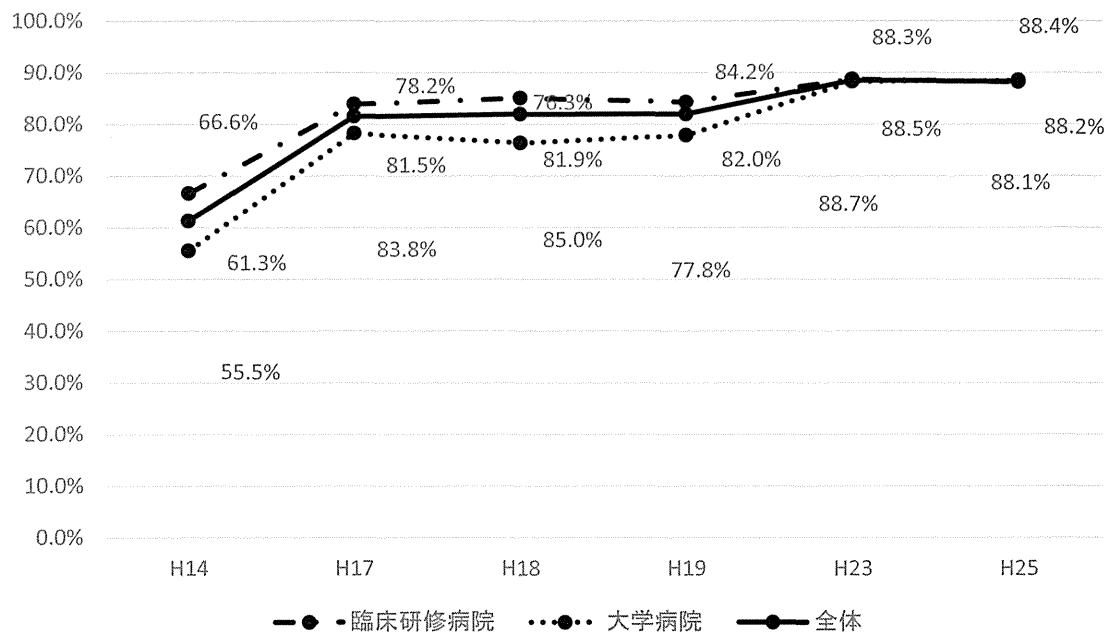




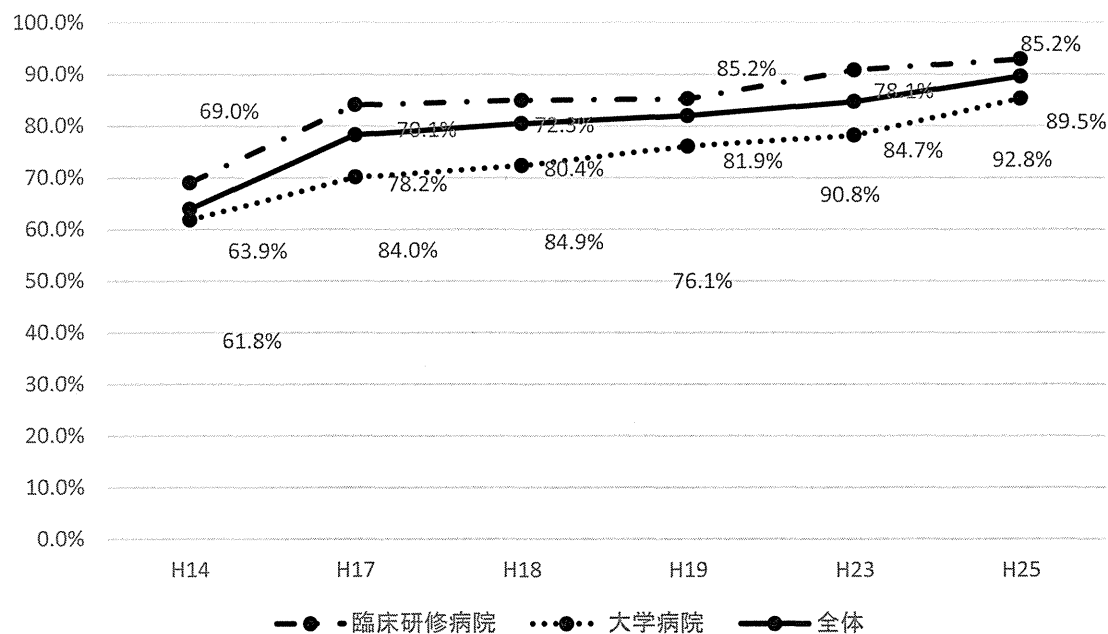




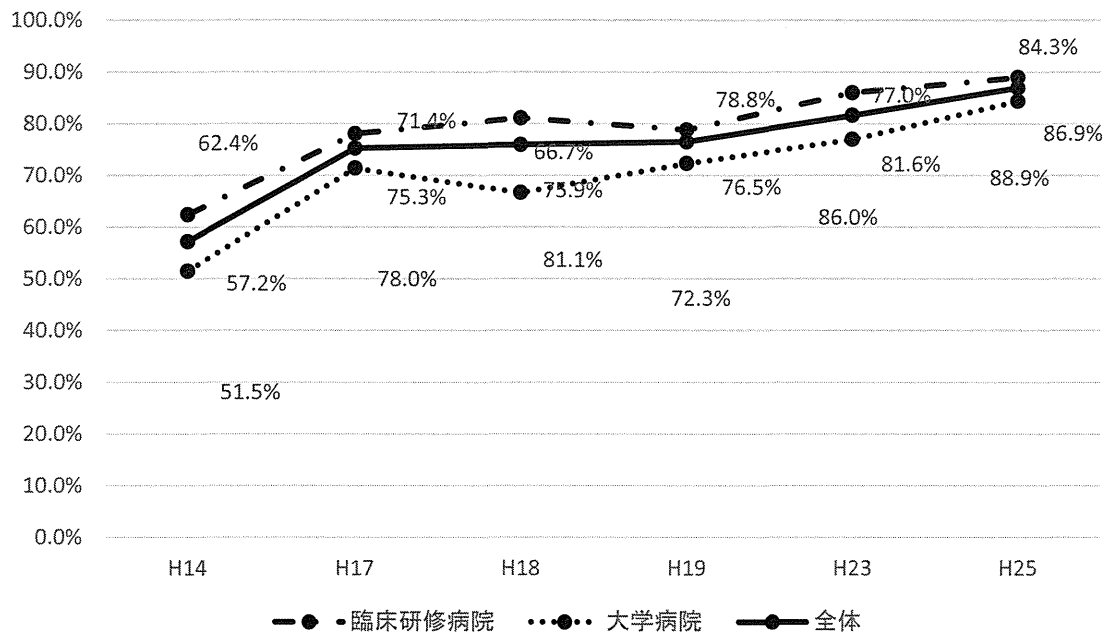
【電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる】



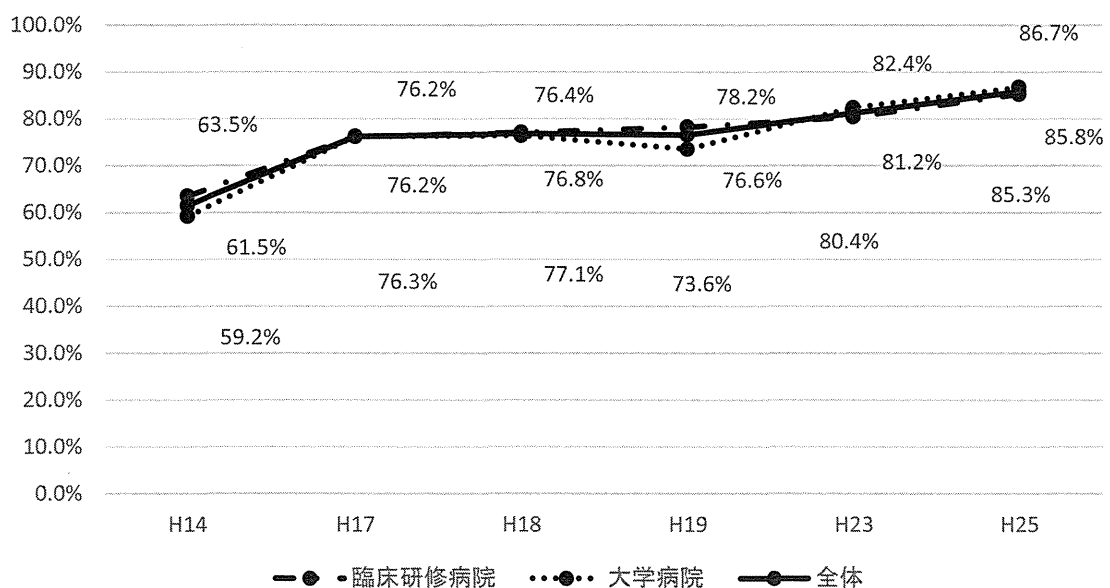
【救急患者の重症度および緊急度を判断できる】



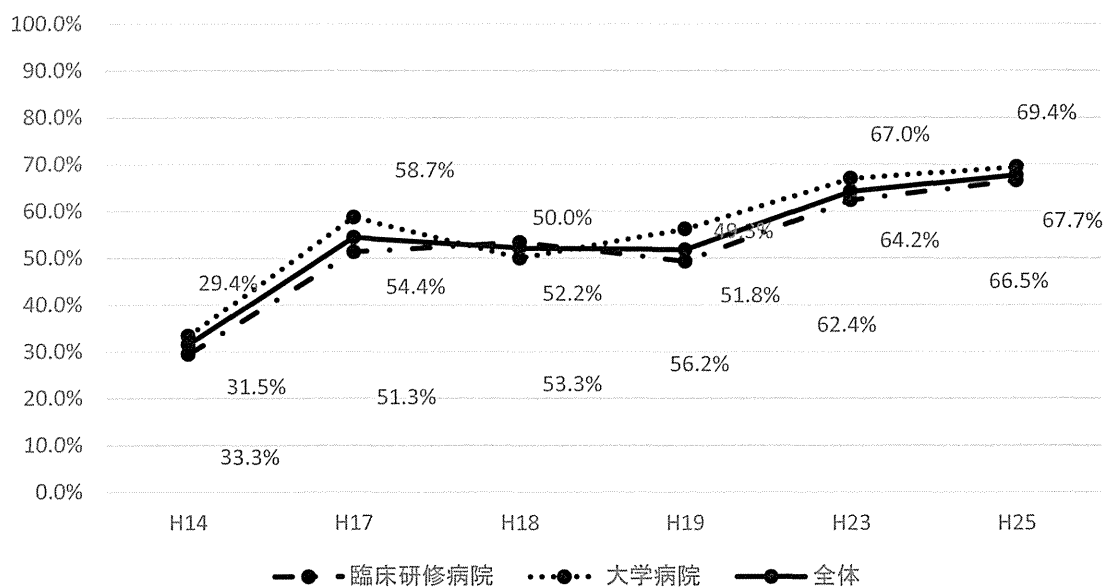
【ショックの診断と治療ができる】



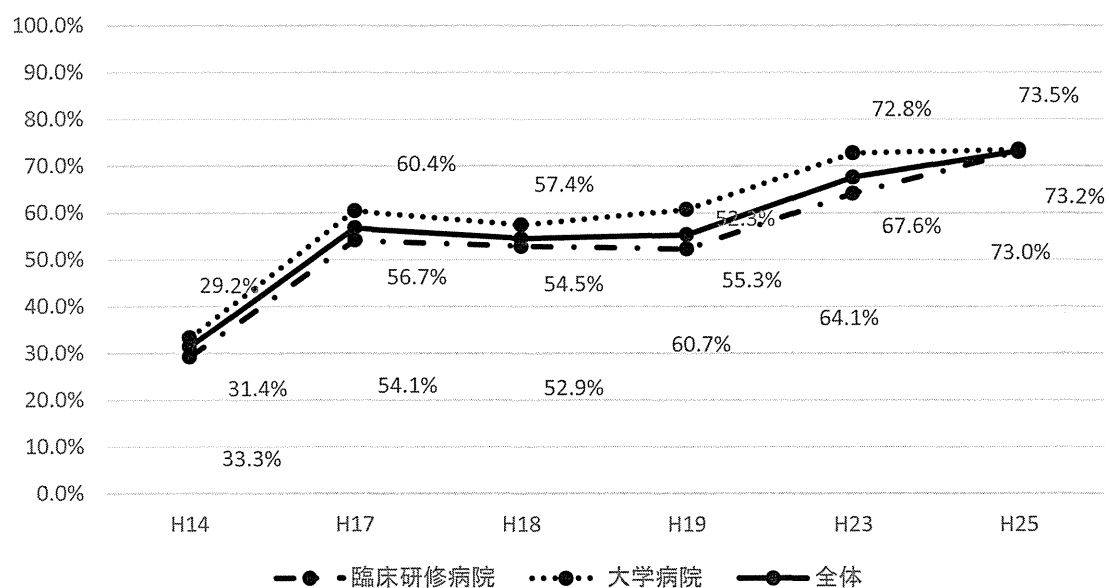
【末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる】



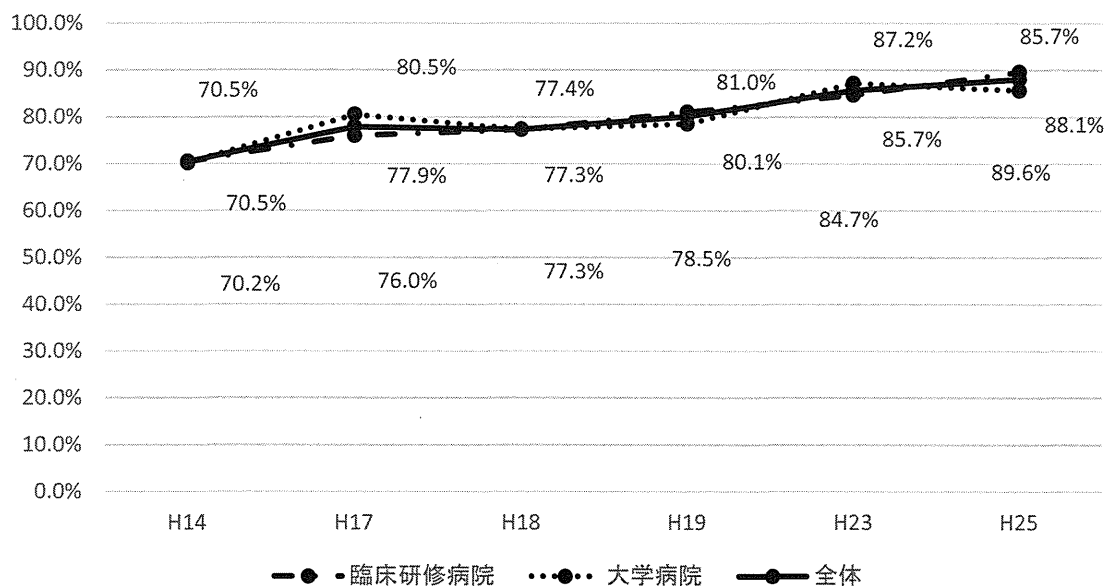
【在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる】



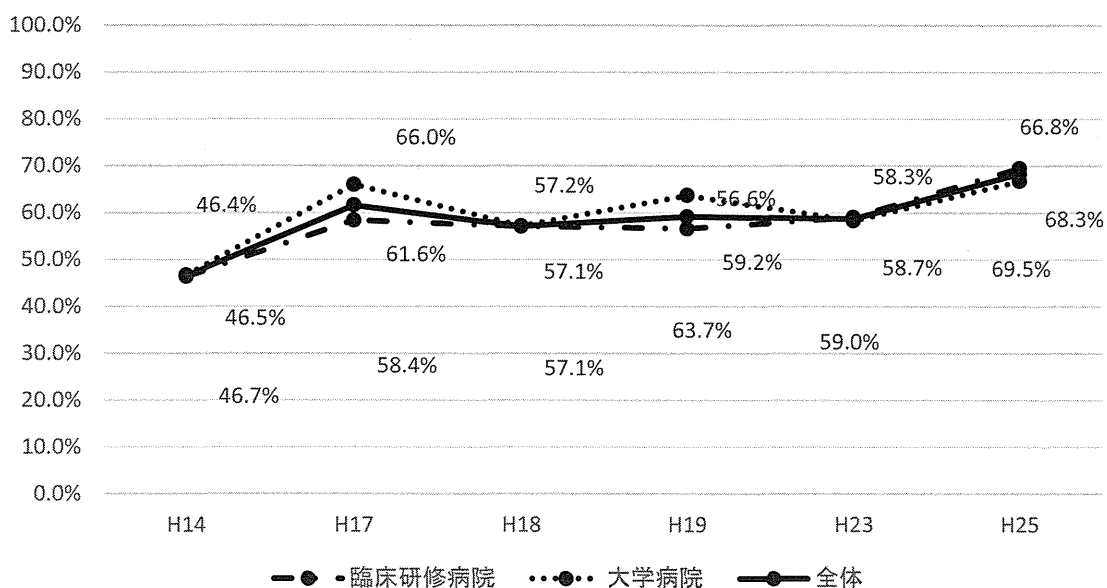
【緩和ケア(WHO方式がん疼痛治療法を含む)のチーム医療に参加できる】

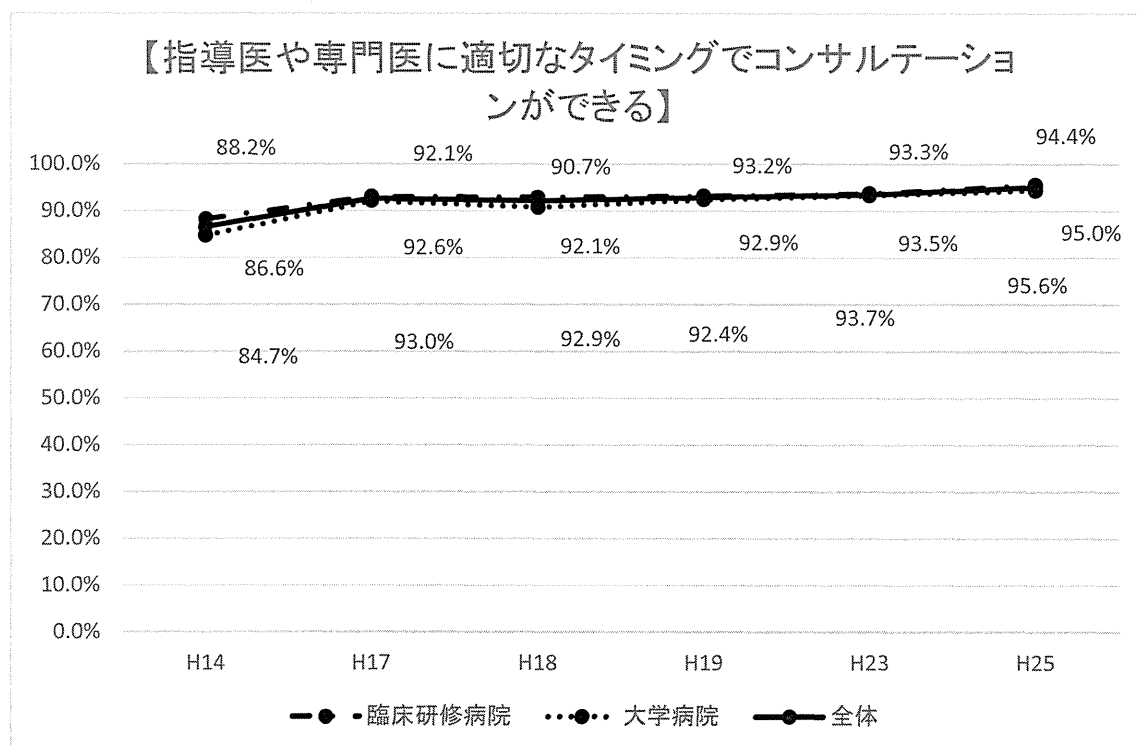
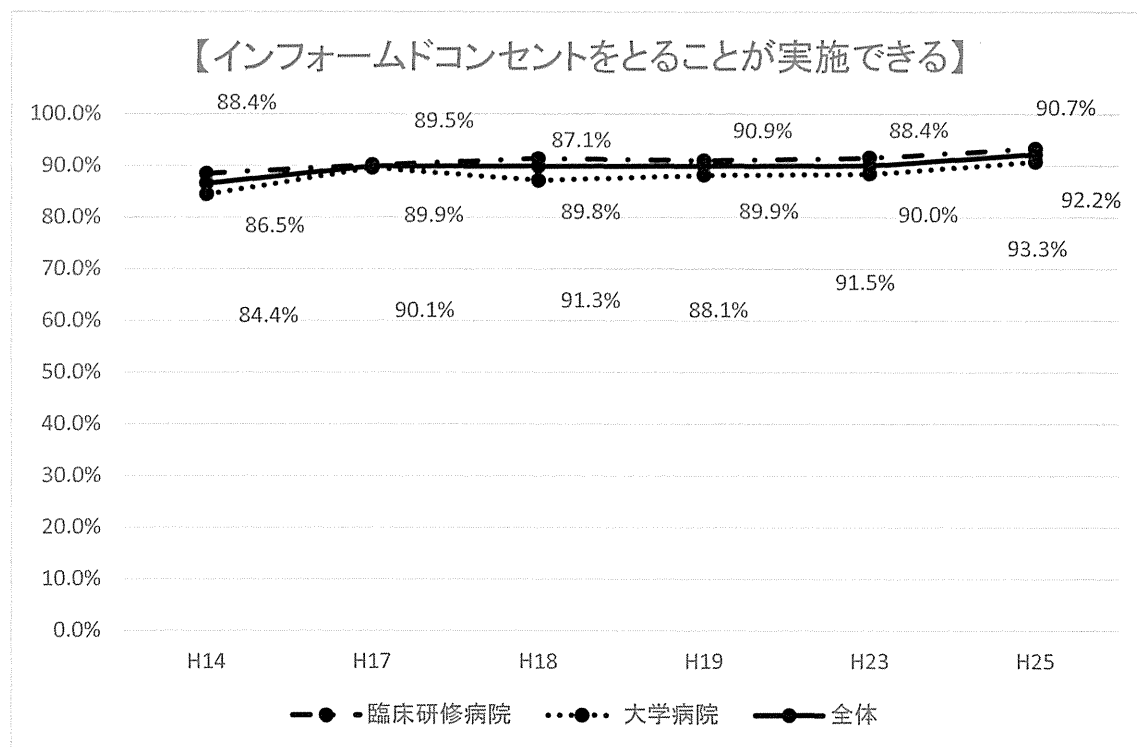


【患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる】

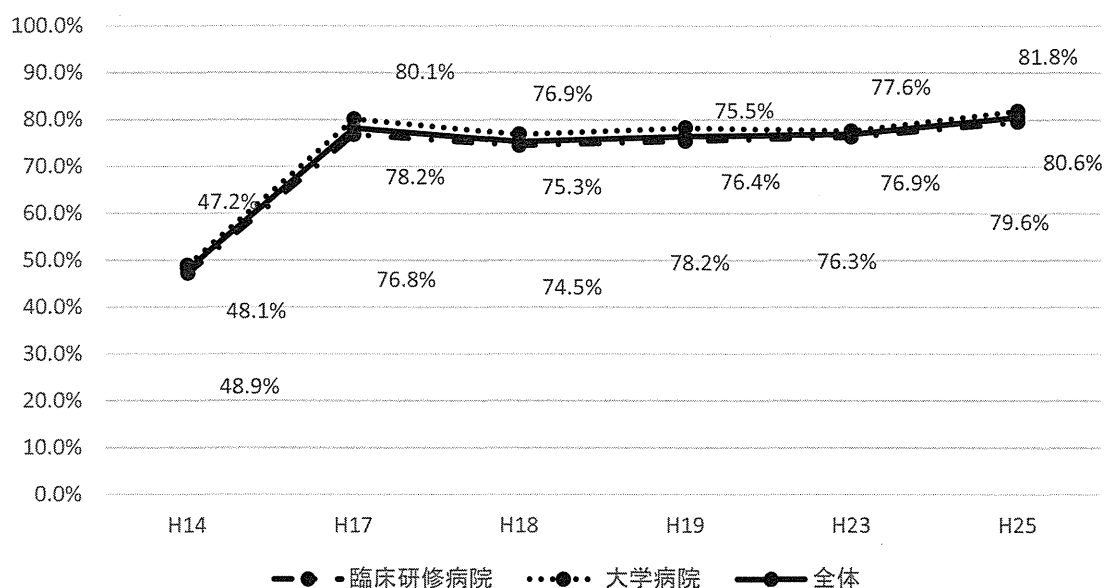


【医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる】

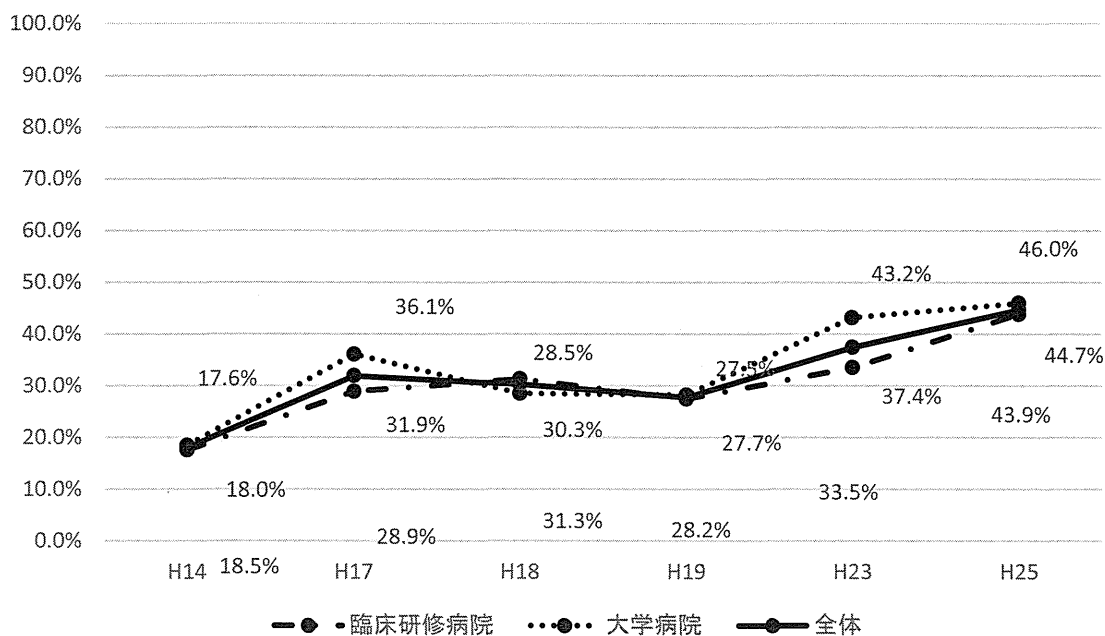


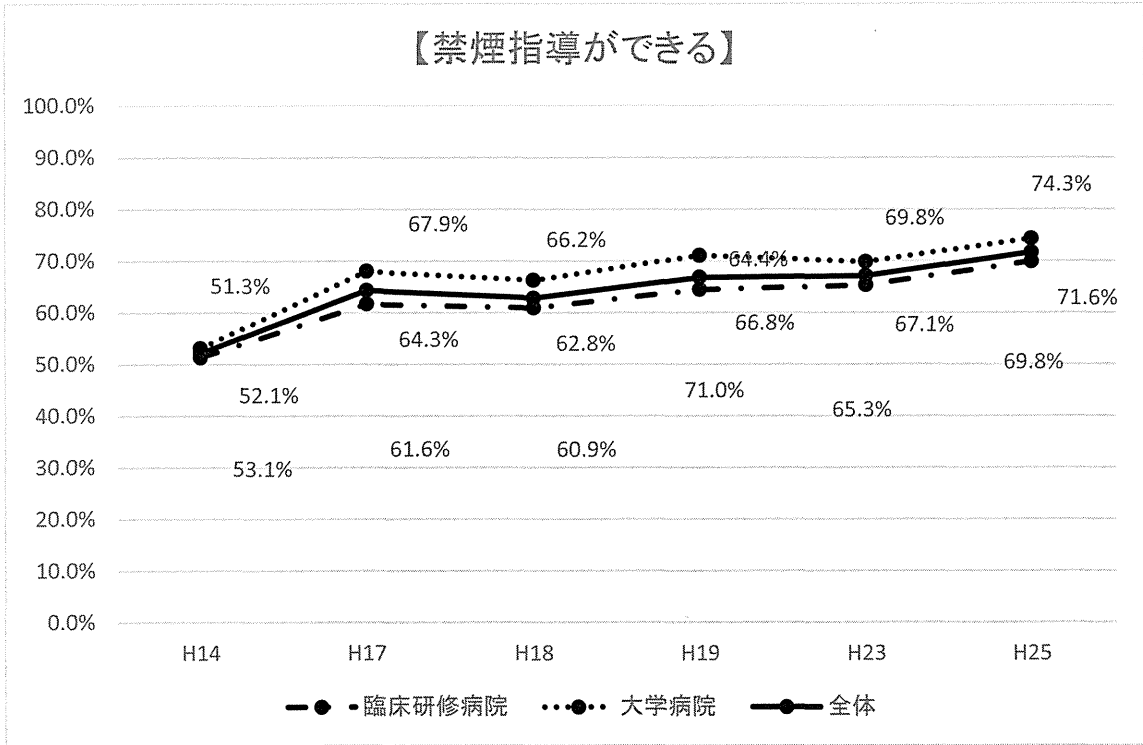
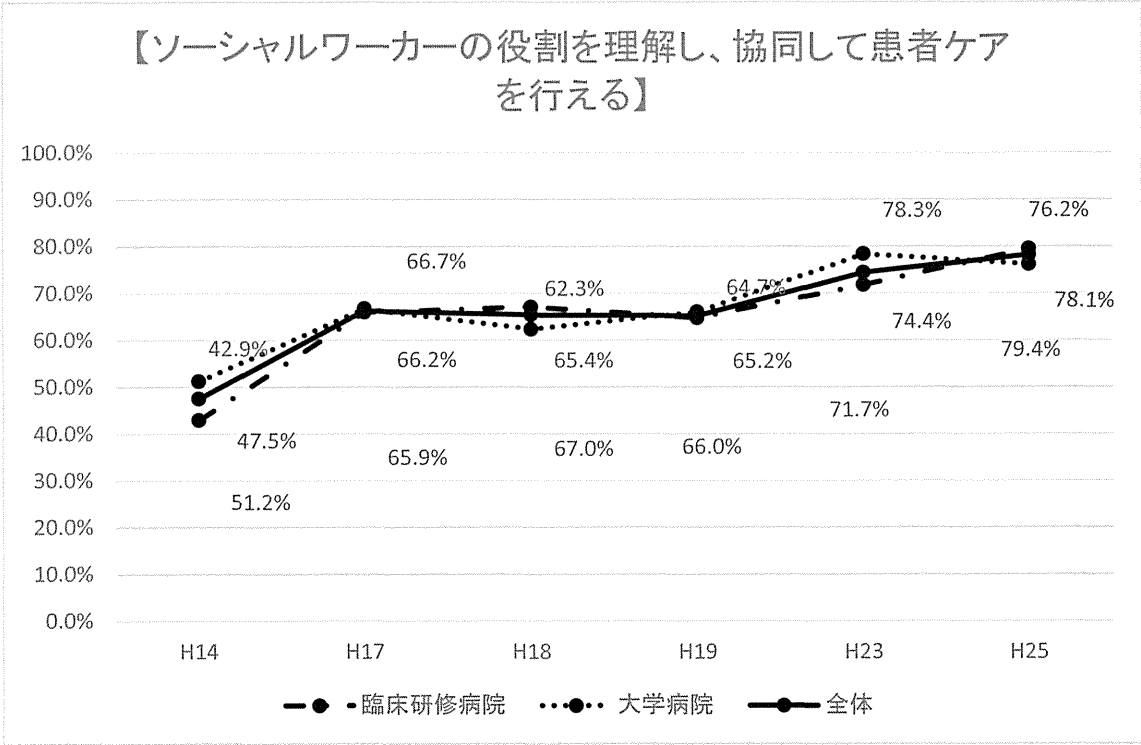


【糖尿病患者への健康教育(健康相談および指導)ができる】

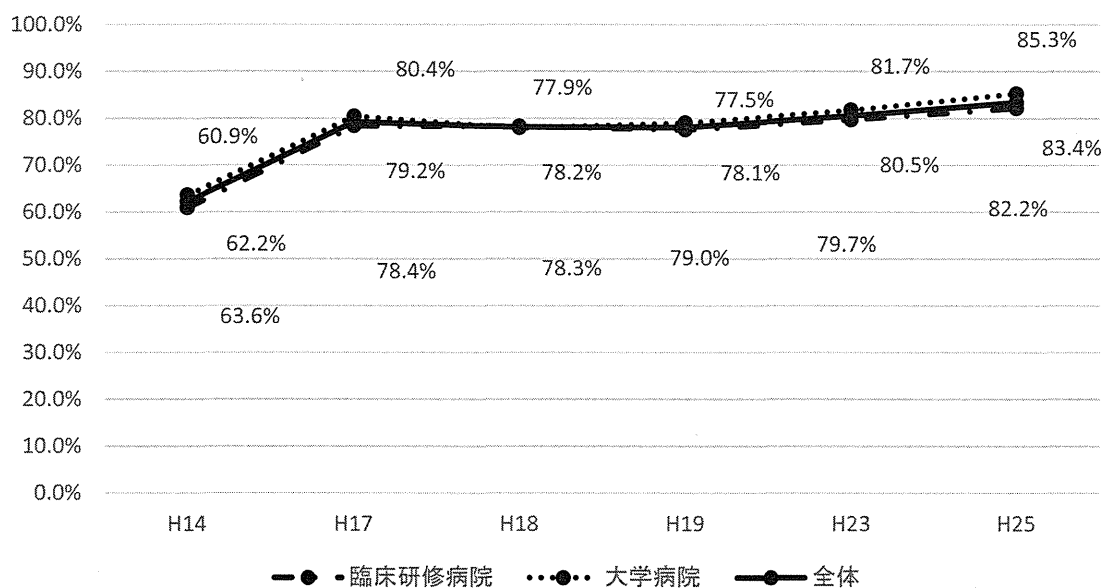


【日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている】

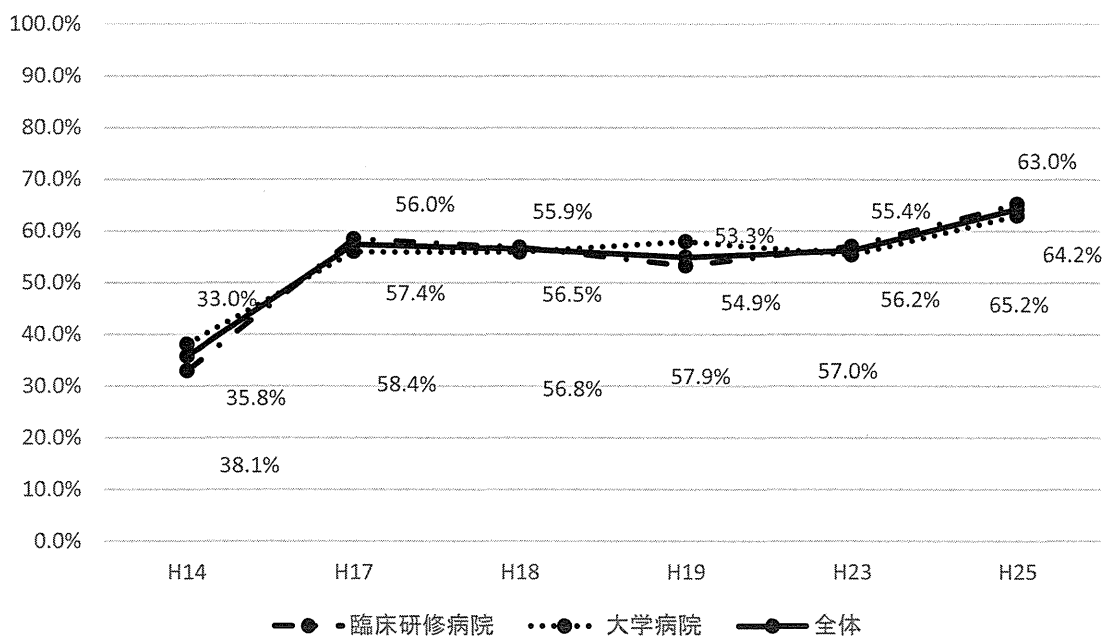




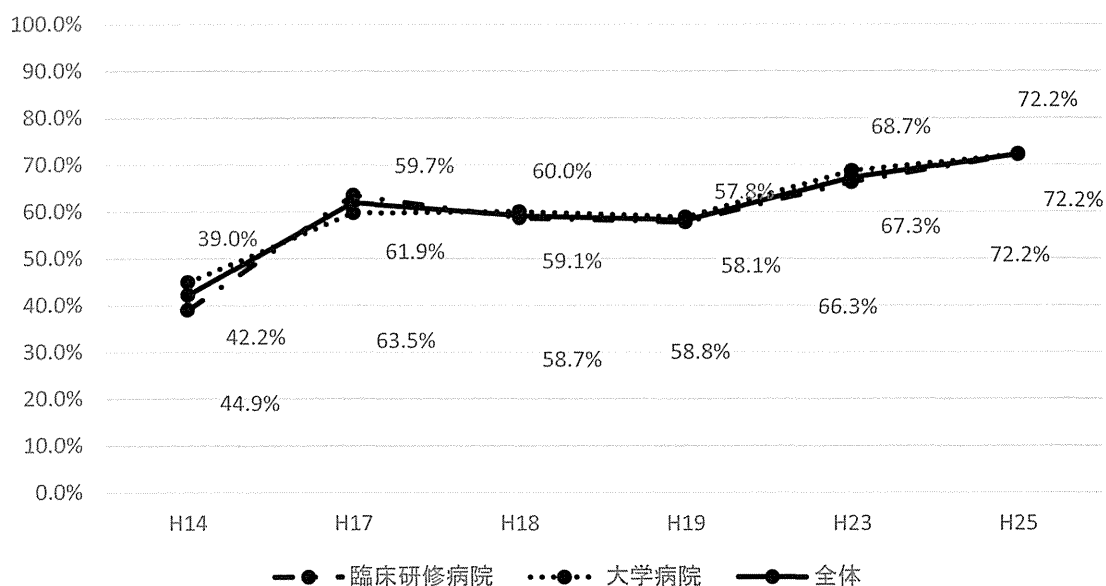
【患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる】



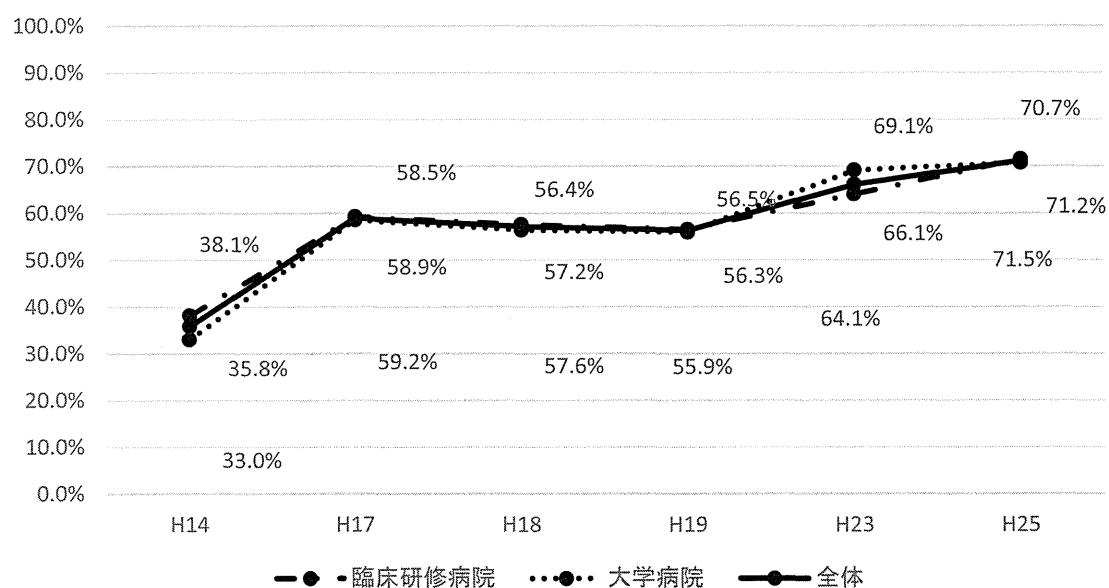
【在宅医療の適応の判断ができる】



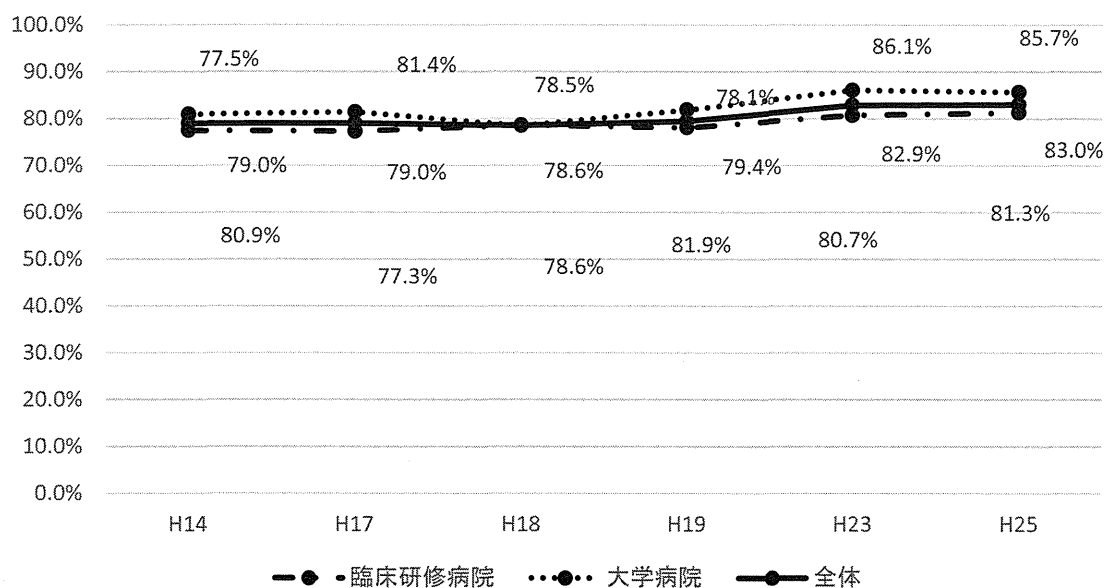
【地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる】



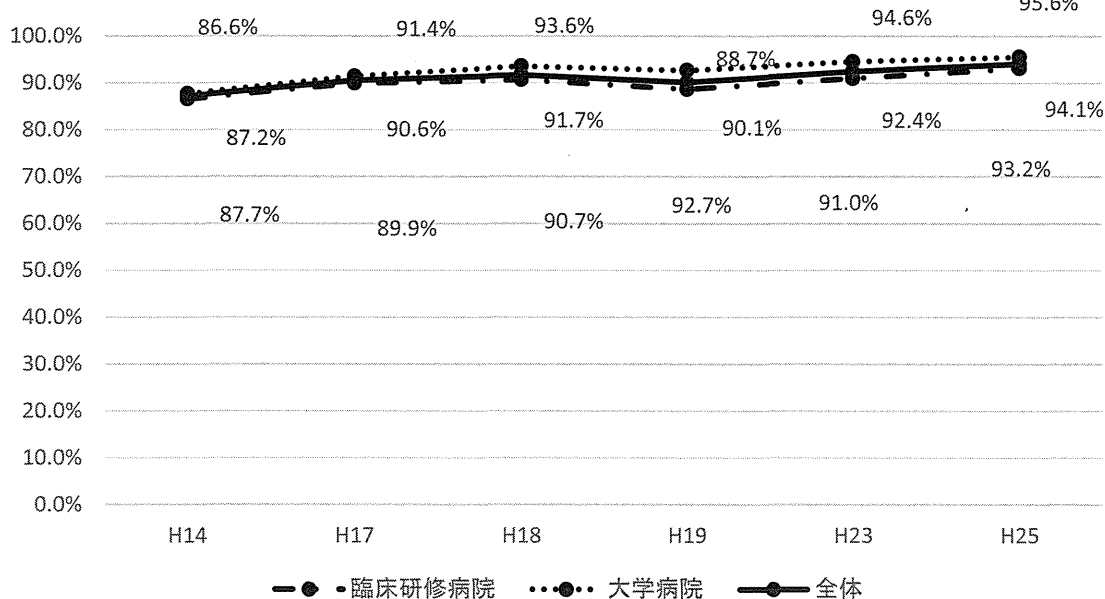
【社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる】

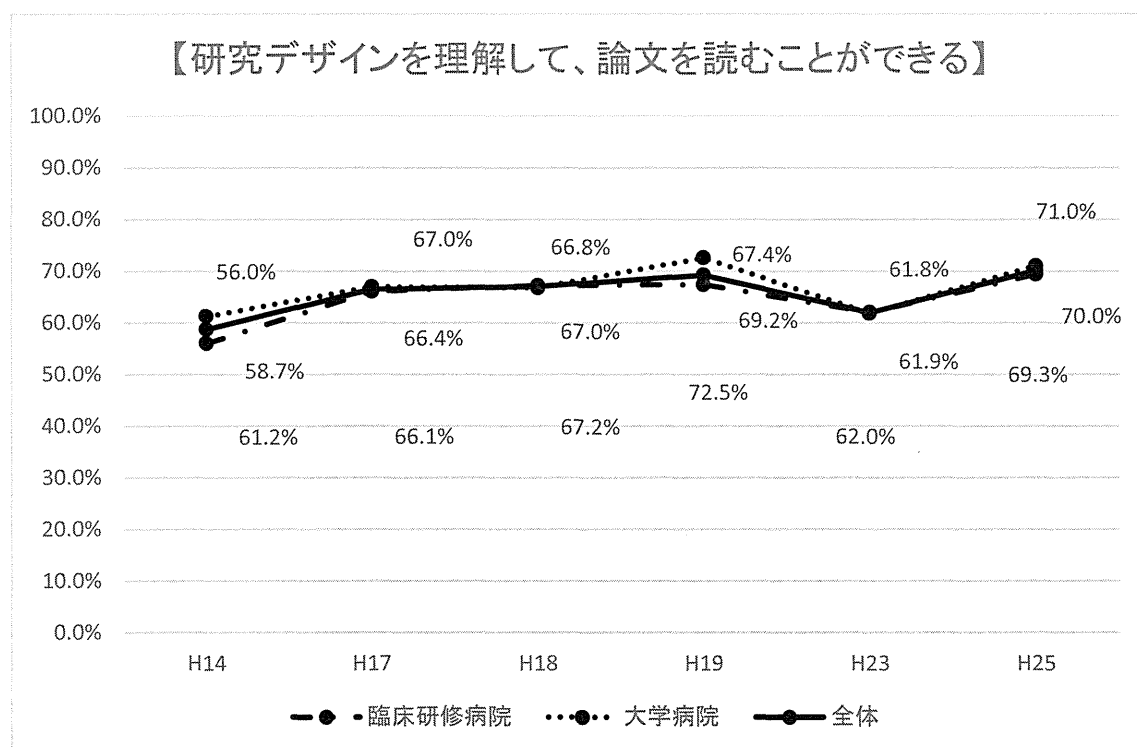
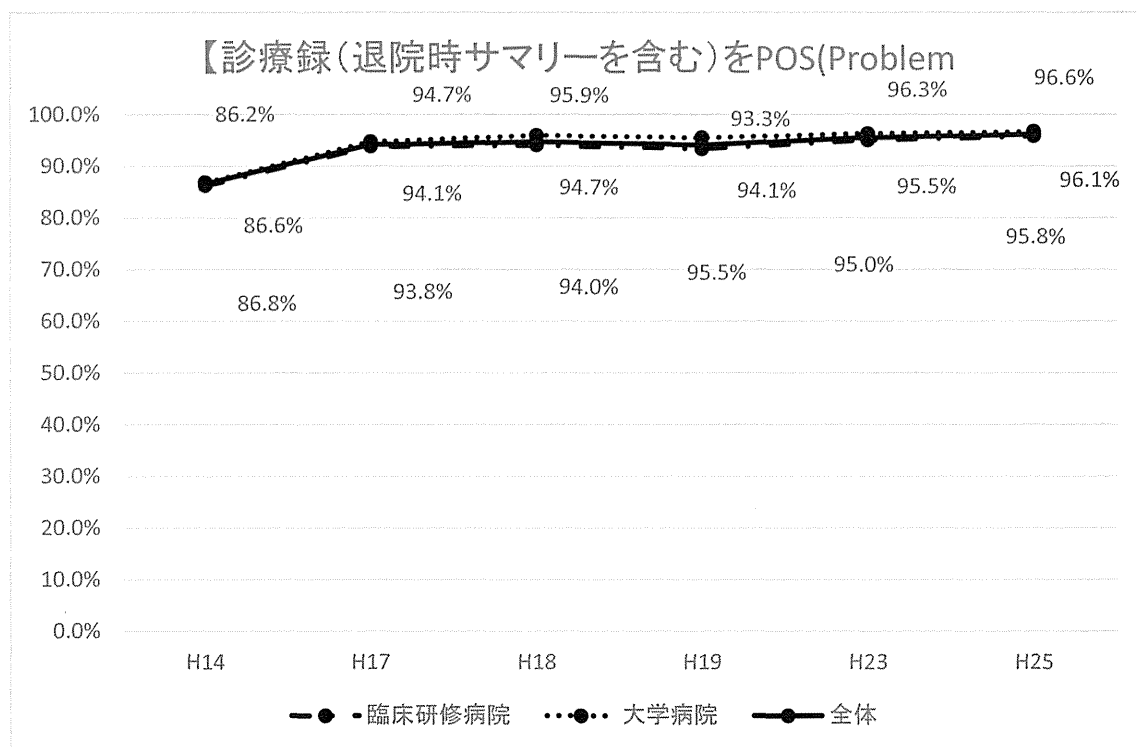


【診療上湧き上がってきた疑問点について、Medlineで文献検索ができる】

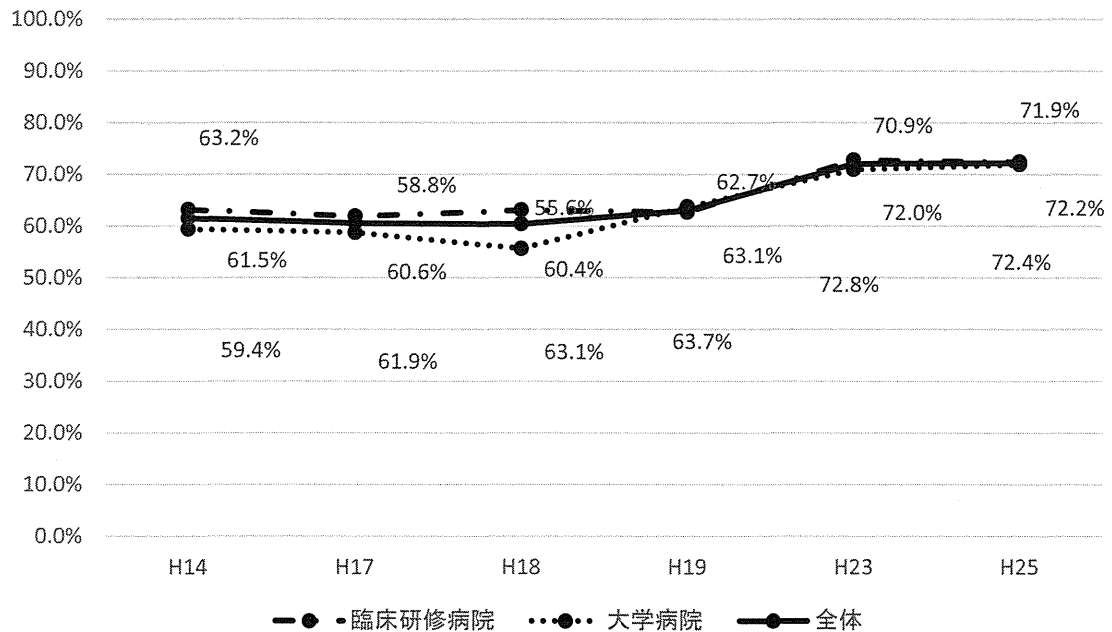


【カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる】





【学会で症例報告ができる】



【データの種別に応じて適切な統計学的解析ができる】

